

海光町学園

小佐々中学校だより

第6号

令和6年5月31日

# バージョンアップ! 小佐々中

※バージョンアップ…状況に応じて、さらに発展、進化、成長すること。



## いのちを見つめる

～ 5月31日 校長講話より ～

平成16年6月1日、佐世保市内の小学校で児童が同級生のいのちを奪うという痛ましい事件が発生しました。佐世保市では6月1日を「いのちを見つめる日」、6月を「いのち輝く強調月間」として、いのちと心に向き合う様々な取り組みを行うこととしています。「いのちを見つめる日」である今日、短い時間ですが皆さんと一緒にいのちについて考えてみたいと思います。

さて、今、悩みなどを抱えている人もいるかもしれませんが、ここにいる私たちは、間違いなく「生きて」います。では…「いのち」はどこにあるのでしょうか。

心臓や頭(脳)を思い浮かべた人が多いかもしれませんがね。この質問に対して、有名な医学者である日野原重明さんは、次のようにお話しされています。

心臓は確かに大切な臓器だけれども、これは頭や手足に血液を送るポンプであり、脳も同じく大切なものだけれど、動物の頭部にある、神経系の中樞である。でも…どちらも、「いのち」そのものではない…。「いのち」とは、目に見えず、感じるものなのだ…。

そういえば…大事なものは、目に見えないものが多いことに気づかされます。例えば、空気 光 思いやり 友情 愛情 …などは、直接目には見えません。

日野原さんは、こうもおっしゃっています。目に見えない大切な「いのち」。なぜ命は目に見えないのか。それは命とは、自分に与えられた「時間」だから。死んでしまったら自分で使える時間もなくなってしまう。人が死ぬまでに使える時間が、その人の「いのち」なのです。

さて、あなたは、自分に与えられた時間、「いのち」をどのように使っていますか？まずは、一度しかない自分の時間、「いのち」を自分のためにどのように使うか、しっかり考えながら生きていってほしいと思います。

でも、大切な時間は、自分のためだけに使うだけでなく、自分の時間を人のために使えるようになってほしい、と願います。自分のためではなく、人のために自分の時間を使うことこそが、本当に「充実して生きる」ことにつながるのです。

自分の時間を、自分のためだけでなく、人のためにも使って充実した人生を送るために…

私が本を読んでいて、印象に残った言葉があるので紹介します。

心は人の痛みが分かるために使おう

手足は人を助けるために使おう…

耳は人の言葉を最後まで聞いてあげるために使おう…

口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう…



6月「いのち」輝く強調月間。仲間や先生方と、「いのち」や「心」について、見つめる時間にしてほしいと思います。それらをとおして、校訓である「信愛」、「お互いを認め信じ合う心」を身に付けていきましょう。